

赤潮・貧酸素情報（15）

平成 26 年 8 月 11 日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

8 月 11 日に豊前海区沿岸における調査を実施した結果、調査した漁港のほぼ全てで有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの増殖が確認されました。

<カレニア・ミキモトイの状況>

- 稲童漁港の底層 1 ml 中に 450 細胞のカレニア・ミキモトイの増殖が確認されました。
- そのほか、調査したほぼ全地点でカレニア・ミキモトイが確認されています。
- カレニア・ミキモトイは、数千～1 万細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に 5 m 層前後）で増殖する性質を持っていますので、通常、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 8 / 5 時点では宇島漁港内で同種による赤潮が確認されています。これと比較して細胞数は減少していますが、今後の天候次第ではプランクトンが増殖する可能性や海水の酸素濃度が低下する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。
- 漁港内での畜養は避け、出荷する際には早めの出荷をお願いします。

<貧酸素の状況>

- 調査した海域において貧酸素は確認されませんでした。

※酸素濃度（D0(%)）は、およそ 30% 以下で魚介類に影響を及ぼし、10% 以下でへい死する恐れがあります。

<今後の状況>

- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※今後、漁業被害、海面着色などがみられましたら、豊前海研究所（0979-82-2151、担当：俵積田、大形）までご連絡下さい。

表 8月11日調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	カレニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)	溶存酸素 (%)
①	柄杓田漁港	0	26.9	30.04	2	114.1
		B-1	26.6	30.08	3	104.5
②	恒見漁港	0	27.5	29.97	3	110.2
		B-1	26.9	30.24	3	91.9
③	松山漁港	0	26.6	27.32	4	109.7
		B-1	26.5	27.77	6	93.4
④	苅田本港	0	27.7	29.72	0	91.7
		B-1	27.3	30.09	0	77.1
⑤	苅田南港	0	27.3	30.05	9	81.9
		B-1	26.8	30.02	3	68.4
⑥	蓑島漁港	0	26.4	28.07	290	103.4
		B-1	26.5	28.53	270	91.3
⑦	稲童漁港	0	26.5	24.68	17	111.9
		B-1	26.3	28.87	450	93.5
⑧	宇島漁港	0	26.6	28.86	4	116.4
		B-1	26.0	29.54	4	92.2
⑨	吉富漁港	0	26.5	14.36	0	114.1
		B-1	26.5	26.39	1	87.4
⑩	柄杓田いかだ	5	26.8	30.44	0	105
⑪	人工島	5	26.8	30.23	0	98.8
⑫	蓑島いかだ	5	26.5	30.24	6	98.3
⑬	椎田いかだ	5	26.1	30.55	4	106.1
⑭	宇島いかだ	5	25.75	30.19	6	92.5

図 8月11日調査点図

